

## 平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	卒業研究(Graduation Thesis)		授業コード	C109937
担当教員名	吉森 聖貴		科目ナンバリングコード	
配当学年	4	開講期	前期	
必修・選択区分	必修	単位数	6	
履修上の注意または履修条件				
受講心得				
教科書				
参考文献及び指定図書	デジタル画像処理 -Digital Image Processing- CG-ARTS協会 コンピュータ画像処理 オーム社 画像・音声処理技術 電波新聞社 IT Text 人画像処理 オーム社 やさしいC ソフトバンククリエイティブ デジタル画像処理 CG-ARTS協会 IT Text 人画像処理 オーム社 詳解 OpenCV オライリー OpenCVプログラミングブック 毎日コミュニケーションズ OpenCVによる画像処理入門 講談社 OpenCV2プログラミングブック 毎日コミュニケーションズ			
関連科目	メディア処理2B, メディア処理演習2B, 研究ゼミナールA, 研究ゼミナールB			

授業の目的	これまで学修した専門知識を活かして、問題解決能力を身に付けることを目的としています。
授業の概要	興味をもった専門領域の研究室に所属し、担当教員の指導や助言を受けながら、特定の研究テーマに沿った研究活動を行います。具体的には、①研究テーマの設定、②予備調査(文献検索、調査、資料収集など)、③研究(設計、実験、解析、開発、制作など)、といった段階を踏みながら卒業研究を進めていきます。研究内容は卒業論文・卒業制作としてまとめ、学科の研究発表会にて発表を行い、教員による審査を受けます。希望者には、豊後大野市の生活環境、集落維持につながる徘徊老人の位置検出システムの開発を主体的、実践的に行います。  研究対象分野: 画像処理分野 内容: プログラミングによる画像解析, 画像生成

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週: 研究テーマの調査</b> 1年間を通して実施する研究のテーマについて調査を行います。	復習: 作業内容を整理しまとめます。 予習: 次回の実施内容について計画を立てます。
<b>第2週: 研究計画の作成</b> 各自で決めた研究テーマを遂行するための、1年間の計画立案します。	復習: 作業内容を整理しまとめます。 予習: 次回の実施内容について計画を立てます。
<b>第3週: 卒業研究の実施</b>	

計画にもとづいて研究を実施します。	復習:作業内容を整理しまとめます。 予習:次回の実施内容について計画を立てます。
<b>第4週:卒業研究の実施</b> 計画にもとづいて研究を実施します。	復習:作業内容を整理しまとめます。 予習:次回の実施内容について計画を立てます。
<b>第5週:卒業研究の実施</b> 計画にもとづいて研究を実施します。	復習:作業内容を整理しまとめます。 予習:次回の実施内容について計画を立てます。
<b>第6週:卒業研究の実施</b> 計画にもとづいて研究を実施します。	復習:作業内容を整理しまとめます。 予習:次回の実施内容について計画を立てます。
<b>第7週:卒業研究の実施</b> 計画にもとづいて研究を実施します。	復習:作業内容を整理しまとめます。 予習:次回の実施内容について計画を立てます。
<b>第8週:卒業研究の実施</b> 計画にもとづいて研究を実施します。	復習:作業内容を整理しまとめます。 予習:次回の実施内容について計画を立てます。
<b>第9週:卒業研究の実施</b> 計画にもとづいて研究を実施します。	復習:作業内容を整理しまとめます。 予習:次回の実施内容について計画を立てます。
<b>第10週:卒業研究の実施</b> 計画にもとづいて研究を実施します。	復習:作業内容を整理しまとめます。 予習:次回の実施内容について計画を立てます。
<b>第11週:卒業研究の実施</b> 計画にもとづいて研究を実施します。	復習:作業内容を整理しまとめます。 予習:次回の実施内容について計画を立てます。
<b>第12週:卒業研究の実施</b> 計画にもとづいて研究を実施します。	復習:作業内容を整理しまとめます。 予習:次回の実施内容について計画を立てます。
<b>第13週:論文作成</b> 研究を行った内容を論文にまとめます。	復習:作業内容を整理しまとめます。 予習:次回の実施内容について計画を立てます。
<b>第14週:論文作成</b>	

研究を行った内容を論文にまとめます。		復習:作業内容を整理しまとめます。 予習:次回の実施内容について計画を立てます。
<b>第15週:論文作成</b>		
研究を行った内容を論文にまとめます。		
<b>第16週:期末試験</b>		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー I :ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
備考		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	研究計画に沿って積極的に研究に取り組める
<b>【知識・理解】</b>	論理的かつ客観的にデータを分析できる
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	研究内容についてわかりやすく発表できる
<b>【思考・判断・創造】</b>	研究内容について文章にまとめることができる 研究テーマが自分で決定できる

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			<b>30点</b>	
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		<b>30点</b>		
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			<b>10点</b>	
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。		<b>30点</b>		

**(「人間力」について)**

※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

**○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安**

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
<b>レポート・作品等 (提出物)</b>	<p>かならず提出期限内に提出してください(期限を過ぎて提出された場合は減点します)。達成水準の目安は以下の通りです。</p> <p>[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。  [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。  [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。  [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。</p>
<b>発表・その他 (無形成果)</b>	<p>卒業研究への取り組み, プレゼンテーション内容等を総合して評価します。</p>